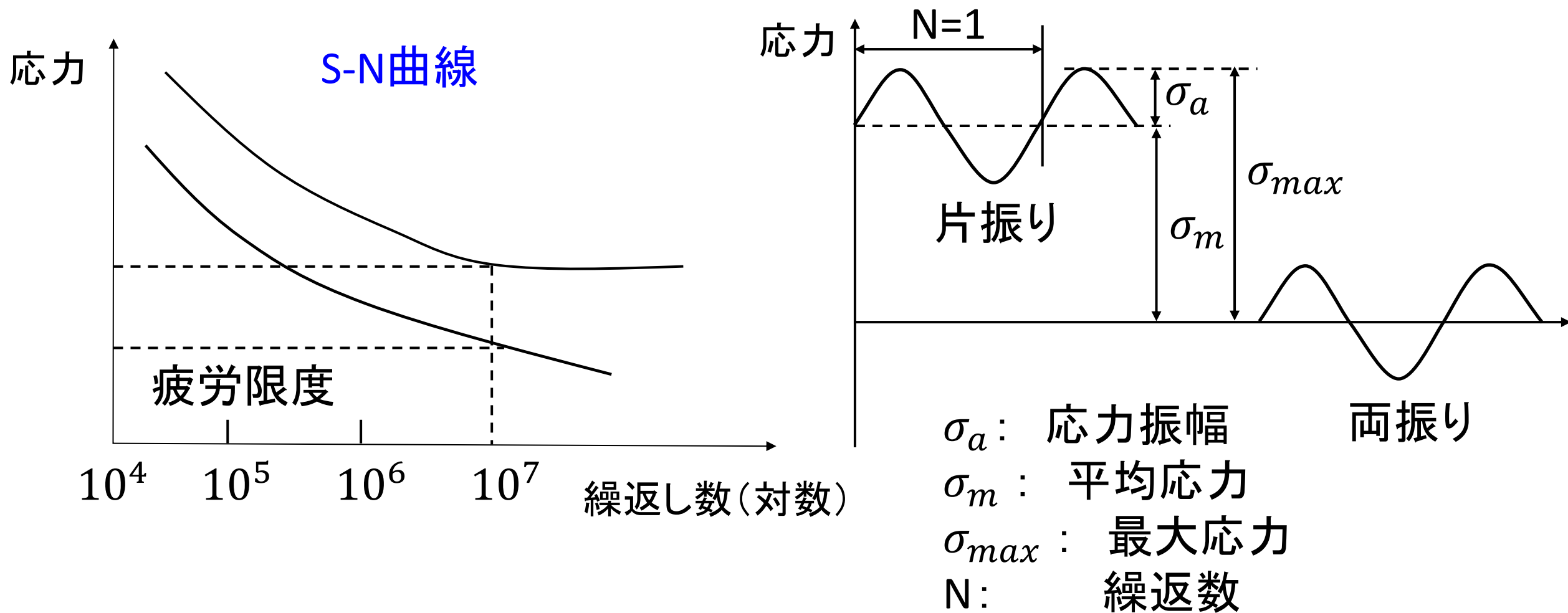
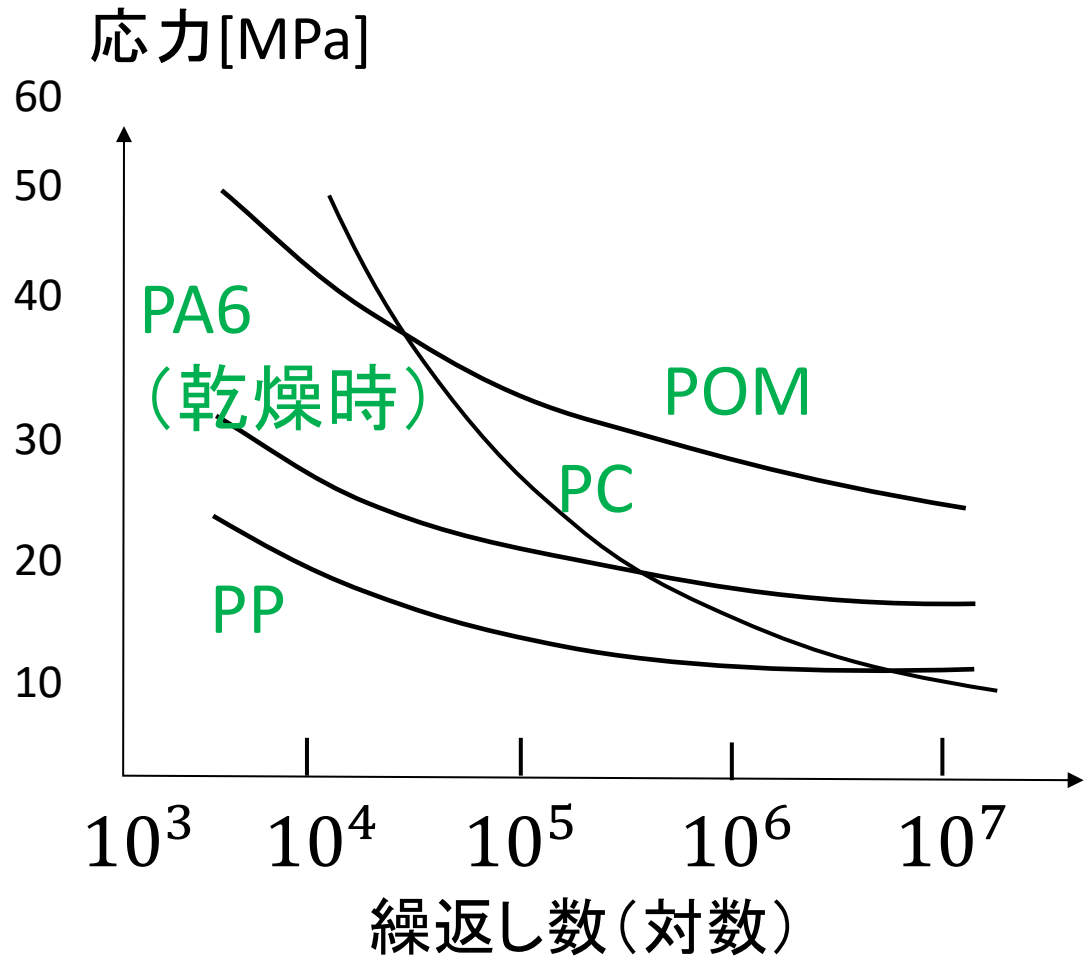


疲労破壊



静的強度よりも繰返し荷重が破壊を引き起こす



各種条件		耐疲労性
温度	高	↘
吸水率	高	↘
分子量	高	↗
結晶化度	高	↗
切欠などの応力集中源	あり	↘
ウェルドライン	あり	↘

アニール処理

[目的]

- ①残留応力低減による破壊、変形の防止
- ②結晶化促進による寸法安定化
成形後に結晶化が進行して寸法が小さくなる
→アニールにより結晶化促進

[処理]

結晶性プラスチック: 実使用温度より10～30℃**高い**温度で実施
非晶性プラスチック: 荷重**たわみ**温度より少し**低い**温度で実施

処理時間は30分～3時間程度